

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	コロナウイルスの感染状況を見ながら地域との交流をし、事業所の存在を地域住民に認知・理解されるよう取り組んでいく。	コロナウイルスの感染状況を見ながら、毎月3回の神社や歩道のごみ拾いを再開していく。密を避けコロナ情勢の中、できれば地区の会に参加する。	12カ月
2	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	メイプル入居者の高齢化に伴い一部の方々は重度化しつつある中、コロナウイルスによる家族との距離や日常生活の過ごし方の見直し。	TV電話を使ったコミュニケーションや、静止画・動画を家族へ提供していく。コロナ情勢により、面会の再開も随時検討していく。	12カ月
3				終末期や緊急時の家族の希望は、定期的に確認する。また緊急時の心臓マッサージやAEDの訓練は3か月毎、連絡などのマニュアル確認は毎月行う。	12カ月
4					カ月
5					カ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。  
 評価結果の通知を受けた日から概ね2週間から30日以内に作成し、市町と評価機関に提出して下さい。(提出必須)